

岐阜県教育委員会 様

岐阜清流高等特別支援学校長

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- | | | | | |
|---|------|---|--|-------|
| 1 | 会議名 | 岐阜清流高等特別支援学校 | 学校運営協議会 | (第1回) |
| 2 | 開催日時 | 令和4年5月27日(金) | 10:00~12:00 | |
| 3 | 開催場所 | 岐阜清流高等特別支援学校 | 会議室 | |
| 4 | 参加者 | 会長 土屋 明之 副会長 清水 達郎 委員 伊藤 知子 大倉 美江 林 武 五十川勝也 井上 友紀 中野志乃ぶ | 障がい者芸術文化支援センター センター長 芥見南自治会連合会 会長 株式会社十八楼 女将 すまいる工房株式会社 代表取締役 岐阜県老人福祉施設協議会 会長 芥見東身体障害者福祉協会 会長 芥見東自治会連合会 会計 岐阜清流高等特別支援学校 PTA 会長 (欠席) | |
| | 学校側 | 青山 孝 三輪 孝司 柳原 英紀 横田 真 三橋 正康 北川 百合 吉田 徹 津田 行代 谷藤麻以子 鎌田 文市 | 校長 教頭 事務長 部主事 教務部長 進路指導主事 生徒指導主事 保健安全部長 支援部長 (特別支援教育コーディネーター) 渉外部長 | |

5 会議の概要 (協議事項)

(1) 学校経営計画及び組織編成について

○校訓・学校教育目標

意見1：コロナ渦で生徒の姿がなかなか見られず、交流する機会がないが、感染拡大状況が

収束したら生徒に地域のイベントなどに参加してもらうことで、地元の方に清流の生徒の活躍を知ってもらいたい。

○学校経営の目標と重点的な取組

意見1：重点にある「自分で考える・決める・行動する」は生徒だけでなく大人にも言えることであるため、我々の職場でも伝えていきたい。

○教育指導の重点

○各分掌の方針と重点

意見1：卒業した生徒たちの進路先での状況はどうか。

⇒コロナ禍ですぐに働くことができなかつた生徒もいるが頑張っている。昨年度の卒業生は、就職して2か月が経過し本校での実習との違いを痛感している者もいる。しかし、企業が逐次学校に相談してくれるため、早期対応につながっている。

(2) 教育課程の編成について

意見1：3年生の「総合的な探究の時間」ではどのような学習をしているのか。

⇒就労に関する学習を中心とし、主に自身の進路先や卒業後の生活プラン等について学習している。

(3) 専門コース製品の価格設定について

○工業コース

○食品コース：秋に向け新製品を検討中。

○園芸コース：品目を一部変更した。

○ビジネス・情報コース

○喫茶サービス：一般向けの営業は行っていない。アイスゆず茶を追加した。

意見1：喫茶営業はまだできないのか。パン販売だけでもできないのか。

⇒できていない。コロナの感染拡大状況によって変わる。営業が再開できるようになった際には、本校ホームページで周知する。

意見2：せっかく生徒たちが頑張っているのだから我々一般も購入したい。予約制で販売してはどうか。多くの方々に買っていただくことは学校の理解につながる。

○ロジスティクスコース

意見1：原価が上がっているが価格の変更はしていないか。

⇒営利目的ではないため、現在のところ原価の高騰による変更はしていない。

意見2：製品は、学校が作りたいたいものだけでなく、CSR (Corporate Social Responsibility) の考えで企業と連携し、企業が求めているものなど他のニーズに合わせながら取り組んでいけるとよい。そうすることで、生徒はより社会の役に立っていることを実感できる。難しい面もあるが、他とのつながりを大切にしていけるとよい。

6 会議のまとめ

・学校経営計画及び組織編成について全委員より承認が得られた。

・教育課程の編成について全委員より承認が得られた。

・専門コース製品の価格設定について全委員より承認が得られた。

○本校生徒にとって外部との交流は大切である。今後も企業や地域と連携を密にしながら引き続き取り組んでいく。

○今後の社会生活においては、生徒の描くシナリオ通りにいかないことのほうが多い。「いざというときに自分で考え、正しい判断・行動ができる」ことを大切にしていける。そして生徒たちが卒業後社会の一員として役に立つことができるよう学校教育活動全般を通して育てていく。